

平成30年度 事業報告

改正された医薬品医療機器等法(薬機法)施行後5年を目途とする見直しにあたり、平成30年12月25日、厚生労働省の厚生科学審議会医薬品医療機器制度部会から、薬機法等制度改革に関するとりまとめ、医薬分業に関するとりまとめが公表され、薬局を機能によって区分する薬機法の改正が検討されている。

平成30年度の診療報酬・介護報酬の同時改定では、「医科:歯科:調剤=1:1.1:0.3」の財源配分は堅持されたが、前回改定に引き続き、改定の外枠で「いわゆる大型駅前薬局に対する評価の適正化」として国費ベースで約60億円の削減が見込まれる等、課題が残った。

当会では、患者のための薬局ビジョン推進事業として、平成30年度はポリファーマシーに着目した薬局薬剤師と病院薬剤師の連携事業に、新潟県と協働して取り組んだ。

「健康サポート薬局」については、平成28年10月1日より届出が始まったが、平成31年2月28日現在の届出状況は、新潟県27件、全国では1,275件である。当会では、健康サポート薬局の整備に向けて必要な研修会を日薬等と連携を図りながら開催した。

また、平成28年度から名称を改めて取り組んでいる「にいがた健康支援薬局」事業により、引き続きかかりつけ薬局の機能強化を推進した。

改訂モデル・コアカリキュラムによる実務実習は、2019年2月から始まっているが、実務実習の受入体制の整備、指導薬剤師の質的向上に取り組んだ。

本会も参画して策定された第7次新潟県地域保健医療計画を見据え、医療介護総合確保基金事業により、新潟県や県医師会等の関係団体等と連携を図りながら、地域包括ケアシステムの中で薬局薬剤師が在宅医療に積極的に関わられるよう、人材育成や環境整備事業に取り組んだ。

薬剤師の学術研究発表等が盛んになってきているが、特に人を対象とする医学・薬学系研究に対しては倫理的な配慮が重要とされている。本会では、学術研究倫理審査委員会を設置し、人を対象とする医学・薬学系研究を倫理的及び科学的観点から審査し、研究倫理に関する研修会を開催するなど薬剤師の学術研究を支援した。

電子処方箋の普及、促進等には、電子的な薬剤師の資格認証が不可欠であり、日薬が行う薬剤師資格証の発行事業に地域薬剤師会と連携し、申請の受付業務等に協力した。

電子処方箋やICT化への対応、病院敷地内薬局問題等、課題が山積している中、行政や医師会等の関係団体並びに日本薬剤師会等との連携を図りながら、以下に掲げる事項に取り組んだ。

1 災害等対策の推進

(1) 災害対策にかかる整備及び啓発(継続)

- ① 平時の防災対策、災害時の対応、災害医療等について、新潟大学医学部災害医療教育センター及び新潟県病院薬剤師会と協力して、会員等を対象に新潟県災害薬事研修会を開催した。

講義1 新潟県における災害医療体制及び災害時の医薬品供給について

講 師 新潟県福祉保健部医務薬事課 山崎雅幸 氏

講義2 現代日本の大地震発生時に何が起きていたか

講 師 新潟県薬剤師会会長 山岸美恵子 氏

新潟大学医学部災害医療教育センター 和泉邦彦 氏

講義3 災害時の医療活動の基本(薬剤師向け)

講 師 新潟大学医学部災害医療教育センター 和泉邦彦 氏

講義4 災害時の薬剤師の活動 ケーススタディ

講 師 新潟県薬剤師会会長 山岸美恵子 氏

新潟大学医学部災害医療教育センター 和泉邦彦 氏

- ② 県薬と地域薬剤師会が連携して活動できるよう、防災対策および災害時の対応等について情報提供した。
- ③ 「新潟県薬剤師会災害対策マニュアル」に則り、災害発生時の情報伝達について、役職員の緊急連絡網により情報伝達訓練を実施した。
- ④ 災害時に必要と思われる備蓄品等を追加購入した。
- ⑤ 新型インフルエンザ等対策訓練に参加するとともに、対応について会員へ情報提供した。

(2) 行政等との連携協力体制の整備(継続)

- ① 新潟県防災会議、新潟県災害医療連絡協議会及び新潟県地震・津波防災地域研究会に参加して、行政との連携体制の推進を図った。
- ② 新潟県・村上市が主催した総合防災訓練に係る全体会議及び分科会に参加し、下越薬剤師会と協力して救護所での医薬品供給訓練計画を立案した。なお、訓練は当日の悪天候により中止となった。
- ③ 新潟県が実施した安定ヨウ素剤の事前配布説明会(19回開催)に地域薬剤師会と連携して会員を派遣した。また、協力会員は安定ヨウ素剤事前配布研修会に参加した。
- ④ 指定地方公共機関として、新潟県が実施した新型インフルエンザ等感染症対策の情報伝達訓練(2回)に参加した。

(3) 災害時の救援活動等への協力・対応(継続)

- ① 新潟県災害時医療救護活動マニュアルの改訂に参画した。
- ② 新潟県の原子力災害医療マニュアル及び安定ヨウ素剤配布計画の策定に参画した。
- ③ 新潟大学医学部災害医療教育センターが主催するPhDLSについて、会員へ周知した。
- ④ 新潟県医務薬事課との業務打ち合わせ会において、災害薬事コーディネーターの設置や災害救助協力に関する協定書の見直しについて申し入れを行って、意見交換を行うとともに、平成31年度の新潟県予算に対する要望事項として提出した。

- ⑤ 日本薬剤師会による平成30年7月豪雨災害に伴う広島県への派遣薬剤師を募集した。
- ⑥ 台風21号並びに北海道胆振東部地震被災会員への義援金を会員から募り、寄せられた義援金を日本薬剤師会へ送った。

2 組織強化対策

(1) 会員増強対策の推進(継続)

組織強化の基盤である会員の増加策として、会員証を発行し、「勤務者(B)会員」の加入促進を図った。また、オーナー会議を開催して意見交換を行った。

(2) 若手リーダー養成事業の実施(継続)

- ① 青年部の企画により、若手薬剤師の指導者養成を目的とした「薬剤師フォーラム2018」を開催した。

テーマ あしたに向かって きらめく これからの薬剤師と政治

基調講演 愛、希望、これからの薬剤師と政治

講師 日本薬剤師連盟副会長 本田あきこ 氏

オープンディスカッション

対談者 日本薬剤師連盟会長 山本信夫 氏、副会長 本田あきこ 氏

- ② 青年部の企画により、薬剤師フォーラム2018フォローアップ研修を、若手薬剤師の交流等を目的とした定例集会との併催で実施した。

テーマ あしたに向かって きらめく これからの薬剤師と政治

(3) 青年部の活動の活性化(拡充)

- ① 青年部員の交流等を図るため定例集会を開催した。

- ② 「味覚障害を学ぼう、体験しよう」をテーマとして、かかりつけ薬局として今後より一層充実した服薬指導のための知識を深めることを目的に、女性薬剤師会との共催で研修会を開催した。

テーマ 味覚障害について ～管理栄養士としてお伝えできること～

講師 厚生連長岡中央総合病院管理栄養士 山澤翔太 氏

- ③ 長岡市薬剤師会からの依頼で「すこやか・ともしびまつり2018」でのブース出展に協力し、「わくわく調剤体験」を行った。また、下越薬剤師会からの依頼で「新発田市健康づくりフェスティバル」でのブース出展に協力し、薬物乱用防止啓発パネル展示、お薬手帳のデコレーションを行った。

- ④ 交流イベントを開催する他、地域医療、社会福祉への貢献事業等を実施し、部員、会員等相互の親睦を図った。

- ⑤ 薬剤師フォーラム2018及びフォローアップ研修並びに定例集会の企画・運営を通じ、本会事業との連携により組織強化に努めた。

- ⑥ 活動内容を青年部員に広報するため、青年部メールマガジンを随時配信するとともに、県薬ホームページにメールマガジンを掲載して広報した。部員同士の横の繋がりを強化するため、部員名簿をメールマガジンに添付して配信した。また、青年部Facebookに活動内容等を投稿し、青年部の対外的な広報を行った。

(4) 地域薬剤師会事務局の支援(継続)

地域薬剤師会事務局体制に応じた支援策を講じて、地域薬剤師会活動の充実・強化に努めた。

(5) 部会活動への支援と情報交換会の開催(継続)

組織強化策の一環として、各部会の活動を支援するとともに、活動状況等について報告した。また、部会活動のあり方と支援策について検討した。

3 未就業薬剤師の就業促進

(1) 薬剤師無料職業紹介所(継続)

ホームページ等を通じて「薬剤師バンク」の広報を行い、未就業薬剤師の就労促進・斡旋を行った。

4 試験検査の実施

(1) 委託検査等の実施(継続)

試験検査委託契約を結ぶ施設を対象とした医療用医薬品・一般用医薬品・薬局製剤の計画的試験検査を実施した。

(2) 依頼検査等の実施(継続)

薬局等からの依頼に応じて薬局製剤の試験検査を実施した。

(3) 研修会等への参加(継続)

試験検査技術の向上のため日薬試験検査センター技術研修会に試験検査室職員を派遣した。また、日薬の「医薬品試験検査に係る精度管理試験」及び厚生労働省の「登録試験検査機関間比較による技能試験」に参加した。

(4) 試薬の販売(継続)

学校給食衛生管理定期検査で使用する食器の残留物検査用試薬を調製し、学校及び学校薬剤師等へ販売した。

5 医療保険制度への対応

(1) 保険薬局業務点検相談会の開催(継続)

調剤報酬の適正請求を図るため、新規及び集团的個別指導対象等の保険薬局を対象に保険薬局業務点検相談会(県内2会場:佐渡市、南魚沼市)を開催した。

佐渡市

講演 個別指導における指摘事項と調剤報酬算定等について

講師 新潟県薬剤師会常務理事 原正氏

講演 訪問薬剤管理指導及び居宅療養管理指導に係る請求について

講師 新潟県薬剤師会常務理事 佐藤宏之氏

南魚沼市

- 講演 個別指導における指摘事項と調剤報酬算定等について
- 講師 新潟県薬剤師会常務理事 原 正 氏
- 講演 最近の中央の動向について
- 講師 新潟県薬剤師会副会長 荻野構一 氏

(2) 保険薬局研修会の開催(継続)

保険薬局の質的向上を目指し、全保険薬局を対象に研修会を開催した。

- 第1部 講演 労災レセプト電算処理システムの普及促進に向けて
- 講師 労災レセプト普及促進センター みずほ情報総研 高橋正樹 氏
- 第2部 講演 個別指導における指摘事項と調剤報酬算定等について
- 講師 新潟県薬剤師会常務理事 原 正 氏
- 第3部 講演 今回の調剤報酬改定がもたらすものと今後の保険薬剤師の果たすべき役割
- 講師 内閣府食品安全委員会事務局評価第一課長 中山智紀 氏

(3) 集団指導、個別指導への立会い(継続)

関東信越厚生局及び新潟県と保険薬局指導に立会い、当該指導の円滑な実施と薬局の適正な保険調剤の推進に努めた。

(4) 「保険薬局だより」の作成(継続)

保険調剤に関する通知等の情報および質問について、会誌「ジャーナル」等に掲載するなどして周知を図った。

(5) 10都県薬剤師会社会保険担当者連絡協議会への参加(継続)

関東信越厚生局管内の各都県における調剤報酬請求に関する審査の状況等について情報交換を行った。

(6) 平成30年度社会保険指導者研修会への参加(新規)

日薬主催の平成30年度社会保険指導者研修会に参加し、研鑽に努めた。

6 医薬分業に係る質的向上対策

(1) 医薬分業及び「かかりつけ薬局・薬剤師」の定着促進(継続)

- ① 患者本位の医薬分業の実現のため、「薬と健康の週間」に合わせ、薬局にポスター、リーフレットを配布し、かかりつけ薬剤師・薬局、薬剤師の役割等について啓発に努めた。
- ② かかりつけ薬局としての機能強化を推進するため、「にいがた健康支援薬局」事業等により薬局を支援した。また、平成29年度に実施した「なじらね訪問」事業について、県内の薬局、多職種等へ周知、啓発を行った。
- ③ 「健康サポート薬局」の整備に向け、日薬と日本薬剤師研修センターに協力し、「健康サポートのための多職種連携研修」を開催した。

第1部 健康サポート薬局の基本理念

講演 健康サポート薬局の基本理念(DVD講義)

講師 日本薬剤師会会長 山本信夫 氏

講演 健康サポート薬局の理念～地域包括ケアに対応した薬局・薬剤師

講師 新潟県薬剤師会常務理事 笠原敦子 氏

第2部 当該地域の医療・保健・健康・介護・福祉等の資源と役割の現状

講演 新潟県における健康課題と健康増進施策等について

講師 新潟県福祉保健部健康対策課 八幡己津子 氏

他職種等の取り組みについて～健康サポート薬局との連携を探る～

講演 新潟県歯科医師会における健康支援の取り組みについて

講師 新潟県歯科医師会常務理事 木戸寿明 氏

講演 データに基づく協会けんぽ新潟支部の保健事業

講師 全国健康保険協会新潟支部企画総務グループ長補佐 坂井雅和 氏

講演 新潟県における医療・保健・健康・介護・福祉等の資源について

講師 新潟県薬剤師会常務理事 笠原敦子 氏

第3部 健康サポート薬局のあるべき姿や、地域包括ケアシステムの中で健康サポート薬局としての役割を發揮するための各職種・機関との連携に関する演習

進行 新潟県薬剤師会理事 長澤貴明 氏

- ④ 新潟県を通じ厚労省より受託した「平成30年度患者のための薬局ビジョン推進事業」として、「ポリファーマシーに着目した薬局薬剤師と病院薬剤師の連携事業」を実施した。
- ⑤ 平成29年度患者のための薬局ビジョン推進事業の成果を広報するため「第50回日本薬剤師会学術大会」にて口頭発表を行った。

(2) 処方箋応需薬局名簿の作成(継続)

新潟市薬剤師会が行う「処方箋応需薬局名簿の作成」を助成し、医薬分業の推進を図った。

(3) 休日等の医薬品供給体制整備(継続)

輪番制による休日当番薬局をホームページに掲載し、休日における薬局の開局状況を広報することにより、医薬品の調剤・供給体制の確保を図った。

(4) 日薬の医薬分業に係る会議への参加(継続)

日薬からの要請を受け厚生労働省が主催する「平成30年度かかりつけ薬剤師・薬局推進指導者協議会」に参加した。

(5) 医療ICT化への対応(新規)

日薬が行う薬剤師資格証の発行事業に協力し、地域薬剤師会と連携した申請受付業務を行うため、地域薬剤師会を対象とした説明会を開催し、覚書を取り交わした。

7 リスクマネジメント対策

(1) 薬局における医療安全管理体制の整備(拡充)

- ① 安全管理責任者の任務と調剤過誤防止に関する研修として、リスクマネジメント研修会を新潟県病院薬剤師会との共催で開催した。

講演 「なじらね訪問」事業について

講師 新潟県薬剤師会常務理事 桂 重之 氏

特別講演 薬薬連携による医療安全対策 ―外来患者を救うトレーシングレポートの書き方・伝え方―

講師 大阪府済生会中津病院薬剤部長 萱野勇一郎 氏

- ② 「薬局プレアボイド」に関する症例検討会を実施し、会員の取り組みを支援した。

第1部 まなぼう編

講演 薬局プレアボイドとは？ 詳細解析事例(CASE-DI)はどう作る？

講師 東京大学大学院薬学系研究科・育薬学講座客員教授 澤田康文 氏

第2部 つくろう編(詳細解析事例(CASE-DI)の作成)

第3部 かたろう編(詳細解析事例(CASE-DI)の発表)

- (2) 高度管理医療機器販売等に係る継続研修会の開催(継続)

日薬が主催する「高度管理医療機器販売等に係る継続研修会」に共催し、医療機器販売等の販売管理者を対象とした継続研修会(2会場:新潟・長岡)を開催した。

講演 医薬品医療機器等法その他薬事に関する法令

講師 新潟県福祉保健部医務薬事課薬務係 五井千尋 氏

同薬事指導係 山下洋佑 氏

講演 医療機器の品質管理、不具合報告及び回収報告、情報提供

講師 新潟県薬剤師会理事 長澤貴明 氏

- (3) DEM事業の広報(継続)

日薬が行うDEM事業について、会員の勤務する保険薬局に対し周知して、事業への参加を啓発した。

8 在宅医療・介護対策

- (1) 在宅医療に関する薬剤師のスキルアップの支援(拡充)

- ① 地域医療介護総合確保基金事業新潟県計画における、「退院促進のための薬剤師による服薬支援推進事業」の一環である「在宅医療(薬剤)人材育成事業」、及び「在宅医療基盤整備事業」の一環である「在宅医療(薬剤)環境整備事業」を新潟県からの補助金事業として、以下の研修会を開催した。

・多職種との事例検討に向けた薬剤師のスキルアップ研修会

講義 地域ケア個別会議の進め方の理解

講師 新潟県薬剤師会在宅医療委員会本部委員 川俣春江 氏

カンファレンスの実践

進行 新潟県薬剤師会在宅医療委員会本部委員 吉田智彰 氏

- ・フィジカルアセスメント研修会(4会場:新潟市、新発田市、柏崎市、上越市)及びフィジカルアセスメントフォローアップ研修(新潟市、新発田市、柏崎市、上越市)

講演・実技 薬剤師に必要なフィジカルアセスメント

講師 新潟県薬剤師会副会長 小幡 聡 氏(新発田会場)
新潟県薬剤師会常務理事 五十嵐 央 氏(新潟会場)
新潟県薬剤師会理事 安達 博 氏(柏崎会場)
新潟県薬剤師会理事 八幡京子 氏(柏崎会場)
新潟県薬剤師会在宅医療委員会本部委員 竹野敏彦 氏(新潟、新発田会場)
地域薬剤師会研修担当講師 西村直泰 氏(上越会場)
地域薬剤師会研修担当講師 村田幸輔 氏(上越会場)

・在宅患者アセスメントと多職種への提案のための研修会(2会場:新潟市、長岡市)

講演 多職種連携のための在宅アセスメント

グループワーク 薬剤管理の症例検討及び多職種連携のスキルの習得

講師 新潟県薬剤師会在宅医療委員会本部委員 吉田智彰 氏(新潟会場)
新潟県薬剤師会理事 宮川哲也 氏(長岡会場)

・無菌調剤に係る基礎研修会(新潟市2回)(DVD講義)

講義 無菌調剤室の共同利用のための手続き

講師 新潟県薬剤師会副会長 渡邊 彦 氏

講義 無菌調剤の基本的手技

講師 日本歯科大学新潟病院薬剤科・新潟県病院薬剤師会 竹野敏彦 氏

講義 輸液について～水・電解質編～

講師 新潟大学医歯学総合病院薬剤部・新潟県病院薬剤師会 山下恒弘 氏

・1から始める、輸液ポンプ研修会

第1部 特別講演 輸液療法のイロハ～きっと輸液が好きになる～

講師 山形大学医学部附属病院薬剤部 邱 龍祥 氏

第2部 説明 輸液ポンプやルートへの理解

講師 新潟県薬剤師会理事 宮川哲也 氏

実習 輸液ポンプ、ルート等の実践

・無菌調剤室の共同利用の契約に必要な知識・技術の習得を図り、無菌調剤室の共同利用の推進を目指し、「無菌調剤室における実技研修」を計12回開催した(新潟、下越)

・「フィジカルアセスメント研修会」、「在宅患者アセスメントと多職種への提案のための研修会」を地域薬剤師会の協力のもとで開催できるよう、地域薬剤師会担当者を対象とした指導者のための養成研修及び会議を開催した。

② 地域医療介護総合確保基金事業新潟県計画「認知症ケア人材育成事業」の一環として、新潟県より「平成30年度新潟県薬剤師認知症対応力向上研修事業」を受託し、以下の研修会を開催した。

・薬剤師のための認知症対応力向上研修会

第1部 講義 薬剤師認知症対応力向上研修

基本編

講師 総合リハビリテーションセンター・みどり病院病院長 成瀬 聡 氏(新潟)

新潟県薬剤師会在宅医療委員会本部委員 吉田智彰 氏(佐渡)

医療法人社団長尾医院院長 長尾政之助 氏(長岡)

対応編

講師 新潟県薬剤師会理事 安達 博 氏(新潟、佐渡)
新潟県薬剤師会在宅医療委員会本部委員 竹野敏彦 氏(長岡)

制度編

講師 新潟県福祉保健部高齢福祉保健課在宅福祉班 高橋正子 氏

第2部 薬剤師の対応グループワーク

講師 新潟県薬剤師会在宅医療委員会本部委員 吉田智彰 氏(新潟、佐渡)

講師 新潟県薬剤師会理事 安達 博 氏(長岡)

- ・地域薬剤師会の協力のもとに「薬剤師のための認知症対応力向上研修会」を開催できるよう、地域薬剤師会担当者を対象とした指導者のための養成研修及び会議を開催した。
- ③ 地域薬剤師会における在宅医療の推進を支援するため、在宅医療に係る地域薬剤師会担当者会議を開催し、情報交換を行った。
- ④ 在宅医療における会員の活動事例を会誌「ジャーナル」に掲載して、薬剤師の資質向上を図った。

(2) 医療・福祉等との連携促進(拡充)

- ① 多職種との連携促進を図るため、「第6回甲信越在宅医療推進フォーラム(在宅ケアを考える集い in 越後2018)」の開催に向け実行委員会に参画するとともに、ブース出展して服薬支援策や薬剤師の訪問薬剤管理指導の紹介を行った。また、「在宅ケアを考える集い in 越後2019」の開催に向け、実行委員会に参画した。
- ② 「在宅医療(薬剤)環境整備事業」として以下の事業を実施し、地域における在宅医療に係る多職種との連携強化を図った。
 - ・介護サービス事業者等を対象とし、「おくすり相談会」を10回開催し、多職種延べ246名が参加した。
 - ・地域薬剤師会が多職種との連携等に向け、事例検討等の会議へ積極的に参加できる薬剤師を育成できるよう、「多職種との事例検討に向けた薬剤師のスキルアップ研修会」への地域薬剤師会担当者の参加を支援した。
 - ・長岡地域の医師等へ在宅医療における注射薬の利用を呼び掛けるため、長岡市医師会が開催する「ビールパーティ」開会前に講演を行った。
 - ・長岡市で「無菌調剤室共同利用にかかる多職種連携会議」を2回開催した。
- ③ 「在宅医療(薬剤)環境整備事業」として、地域住民及び多職種等が在宅医療等に関する業務内容から薬局を選択できるよう、県薬ホームページを改修した。
- ④ 新潟県が実施する「介護予防活動普及展開事業」へ協力し、市町村が開催する「介護予防のための地域ケア個別会議」にかかる薬剤師の助言者養成を支援し、助言者を派遣した。また、この事業にかかる専門職6職種で構成する「新潟県地域包括ケア支援専門職協議会」に参画した。

9 医薬品販売制度への対応

(1) セルフメディケーション推進のための一般用医薬品等の活用等に関する啓発活動(継続)

- ① 健康サポートのための薬剤師の対応研修として、「薬剤師の臨床判断と一般用医薬品適正

使用研修会(頭痛編)」を開催した。

- ② 日薬が開催した「薬剤師の臨床判断に基づく要指導医薬品・一般用医薬品の適正な販売等に関する研修会」のDVDを用いて伝達講習を行った。
- ③ 一般用医薬品販売制度やセルフメディケーション税制について、ジャーニファ及び県薬ホームページ、メール等で広報し、会員への情報提供に努め、薬局等の対応について支援した。

(2) 医薬品販売制度への対応(継続)

- ① 日薬の「医薬品販売制度に関する自主点検」を実施し、会員薬局の法令遵守を啓発した。
- ② 登録販売者の勤務する薬局の開設者に義務付けられている登録販売者への研修会を新潟県医薬品登録販売者協会と共催して3回開催した。また、研修会のDVDを利用し、補講と通信講座を共催した。
- ③ 登録販売者の通信研修として新潟県医薬品登録販売者協会の通信講座や日本薬剤師研修センターのeラーニングについて会員に周知・サポートした。

10 薬局製剤の推進

(1) 薬局製剤の推進(継続)

漢方(薬膳)や薬局製剤等について、広報誌「ジャーニファ」等により、会員へ情報提供を行った。

11 薬剤師養成のための薬学教育への対応

(1) 実務実習受入体制の整備と指導薬剤師の資質向上(拡充)

- ① 関東地区調整機構からの依頼を受け、2019・2020年度薬局実務実習受入表明の調査を行った。
- ② 関東地区調整機構からの依頼を受け、平成31年度実務実習受入表明薬局と薬学生とのマッチングを行った。
- ③ 認定実務実習指導薬剤師認定更新のための講習会を、DVDを用いて開催した。
- ④ 充実した実務実習を実現するため、薬局実務実習地域薬剤師会担当者会議を開催した。
- ⑤ 認定実務実習指導薬剤師の資質向上を図り、改訂モデル・コアカリキュラムに対応した実務実習を円滑に実施するため、アドバンスワークショップを薬学教育協議会、関東地区調整機構、新潟県病院薬剤師会と共催した。
- ⑥ 認定実務実習指導薬剤師養成のための講習会を、DVDを用いて開催した。
- ⑦ 認定実務実習指導薬剤師養成のためのワークショップを薬学教育協議会・関東地区調整機構・新潟薬科大学・新潟県病院薬剤師会・群馬県薬剤師会・群馬県病院薬剤師会との共催により新潟市で開催した。

(2) 関東地区調整機構・日薬会議への参加(継続)

- ① 薬学生実務実習の円滑な実施を図るため、日薬の薬局実務実習担当者全国会議及び薬局実務実習受入に関する関東地区ブロック会議に参加した。
- ② 薬学生実務実習の環境整備やワークショップの円滑な実施等について協議する関東地区調整機構総会、関東地区調整機構指導薬剤師養成小委員会及び薬局小委員会に出席し

た。

- ③ 新潟薬科大学と連携して、改訂モデル・コアカリキュラムに対応した実務実習を円滑に実施するため、新潟薬科大学主催のルーブリック評価研修会、平成30年度臨床実務実習事前説明会、平成29年度臨床実務実習成果報告会及び平成31年度臨床実務実習事前説明会に出席した。
- ④ 新潟薬科大学からの依頼を受け、改訂モデル・コアカリキュラムに基づく実務実習実施に向けた新潟県薬剤師会、新潟県病院薬剤師会、新潟薬科大学による三者会議に出席した。

12 地域保健対策の推進

(1) 「消費者のための薬のセミナー」の開催(継続)

地域の健康維持と保健衛生の向上に資するため、新潟県からの事業委託による「消費者のための薬のセミナー」を184回開催した。

(2) 薬物乱用防止事業の推進(継続)

- ① 薬物乱用防止啓発資材(ポケットティッシュ)を作成し、県を通じて県民へ配布した。
- ② 新潟県等の依頼を受け、薬物乱用の未然防止を図るためのポスターやリーフレット等の啓発資材を地域薬剤師会へ送付し、薬のセミナーや他団体等が主催する健康まつり等のイベントで配布して広報に協力した。
- ③ 新潟県薬物乱用防止対策推進本部会議の本部委員として参画し、行政との連携を図った。

(3) 薬事衛生指導員研修会の開催(拡充)

新任等薬事衛生指導員の養成及び資質向上を図り、新たに指導員の発掘を図ることを目的として研修会を開催した。

- | | |
|----|-----------------------|
| 講演 | 消費者のための薬のセミナー |
| 講師 | 新潟県薬剤師会常務理事 松島邦明 氏 |
| 講演 | わたしのお薬セミナー |
| 講師 | 新潟県薬剤師会薬事衛生指導員 土屋雅之 氏 |

(4) 「薬と健康展」等、薬事啓発事業の実施(継続)

- ① 新潟県薬事団体連絡協議会との共催により、長岡市薬剤師会と連携して「薬と健康展」を開催した。
- ② 新潟はっぴー乳ライフ実行委員会に参画するとともに、新潟はっぴー乳ライフ主催「ピンクリボンホリデー2018」にブース出展した。
- ③ 新潟県健康づくり財団が主催するがん征圧新潟県大会併設「生活習慣病予防展」に糸魚川薬剤師会の協力を得てブース出展した。
- ④ 健康増進関連団体等が主催する行事に地域薬剤師会の協力を得て参加した。
- ⑤ ジェネリック医薬品の正しい知識を県民へ啓発するため、テレビ番組を制作して放送した。また、薬のセミナー等を活用し、ジェネリック医薬品の説明等を行うとともに、他団体主催の健康関連イベントにて啓発資材を配布した。
- ⑥ お薬手帳の活用等について県民への理解を深めるために、啓発資材を作成して薬のセミナ

ー及び健康関連イベントにて配布して広報・啓発に努めた。

- ⑦ かかりつけ薬局を県民へ広報・啓発するため、チラシを増刷し、薬のセミナーや他団体等が主催する健康関連イベントの参加者に配布した。
- ⑧ 日薬が作成した「知っておきたい薬の知識」を購入し、他団体等が主催する健康関連イベントの参加者に配布して、正しい薬の知識の普及・啓発を図った。

(5) 自殺予防対策の推進(継続)

- ① 自殺予防に対する薬剤師の意識向上を図るため、自殺対策に関わる薬剤師の人材を育成するための研修会(ワークショップ)を開催した。また、長岡市薬剤師会が主催する研修会(ワークショップ)へ講師を派遣した。
- ② 自殺危機にある人に対し、薬剤師が服薬指導等のなかで、実際にどのように「気づき」・「つながり」ことができるかなど、今後の対応についてのスキルを身につけることを目的とし、自殺予防ゲートキーパーフォローアップ研修会を開催した。
 - 講演 新潟県の自殺の現状と分析について
 - 講師 新潟県福祉保健部障害福祉課いのちとこころの支援室 榎田 健 氏
 - 講演 いのちの電話の活動と「聴く」ことについて
 - 講師 社会福祉法人新潟いのちの電話事務局長 池田伸一 氏
- ③ 新潟県の自殺予防対策推進県民会議及びいのちとこころを守る県民集会に参加した。
- ④ 厚生労働省の自殺予防対策を推進するため、お薬相談窓口(フリーダイヤル)を支援情報検索サイト及び新潟県の心のセーフティネットに登録した。

(6) 禁煙対策の推進(継続)

県民への理解を深めるために、他団体等が主催する健康関連イベント等で、啓発資材を配布するなどして広報・啓発した。

13 ドーピング防止対策の推進

(1) ドーピング防止に関する啓発・広報活動の推進(継続)

- ① 適正なドーピング防止活動を行うために、ドーピング防止ガイドブック2018を会員薬局及び会員所属の医療機関に配布した。
- ② ドーピング防止に関する情報を会誌「ジャニファ」等で広報した。

(2) ドーピング防止のための研修会への参加(継続)

会員及びスポーツファーマシストのドーピング防止活動を支援するために、都道府県薬剤師会スポーツファーマシスト担当者研修会に参加した。

(3) 他団体との協力(継続)

公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構が主催するスポーツファーマシスト(Live On Seminar)研修会に参加した。

14 電話相談事業の推進

(1) 電話相談の対応(継続)

新潟県からの補助事業として、フリーダイヤルの活用による一般県民からの薬に関する電話相談に応じた。

15 学術研修・生涯教育の充実

(1) 新潟薬学会の開催(継続)

会員の研究発表及び薬剤師としての学術的研鑽を支援するため、新潟県病院薬剤師会と共催で第159回新潟薬学会を開催した。

特別講演 世界の大麻事情と未規制物質の出現

講師 東京薬科大学薬学部非常勤講師 安田一郎 氏

(2) 学術研修会の共催(継続)

新潟薬科大学「薬剤師生涯教育講座」、新潟県女性薬剤師会春期研修会及び日本女性薬剤師会全国移動セミナー in 新潟、新潟県学校薬剤師会研修会を共催した。また、薬剤師に関連のある各種研修会等を後援して広報することにより、薬剤師の生涯学習の機会を提供した。

(3) 薬剤師生涯学習関連事業の推進(継続)

① 日薬の生涯学習支援システムJPALSの広報・啓発に努めた。

② 薬剤師の生涯学習を推進するために、生涯学習地域薬剤師会担当者情報交換会を開催する等して、会員の生涯学習の環境整備を図った。

③ 日薬の平成30年度薬剤師生涯教育推進事業次世代薬剤師指導者研修会に出席した。

16 広報・情報活動の推進

(1) 会誌「ジャーニファ」の定期刊行(継続)

① 会誌「ジャーニファ」を年4回発行して、会員の学術的研鑽や会員の交流の場等になるよう寄稿を積極的に働きかけ、掲載内容の充実に努めた。また、県薬事業の広報強化、会員への情報提供を図った。

② 日本薬剤師学術大会等取材して、参加報告を会誌「ジャーニファ」に掲載して広報に努めた。

(2) 日薬データベースへの参加(継続)

日薬データベース「Bunsaku」共同入力事業に参加した。

(3) 図書及び情報の整備(継続)

薬事情報センター機能の充実に努めるため、図書及び情報等の整備に努めた。また、薬物乱用防止教室のための資料等の貸し出しを行った。

(4) 薬事情報に関する研修会への参加(継続)

日薬情報センター実務担当者会議及び日本医薬品情報学会学術大会に参加した。

(5) ホームページの管理(継続)

新潟県薬剤師会のホームページを管理し、内容の充実を図った。

(6) メールニュースの配信(継続)

メールニュースの配信により、会員への即時性のある情報提供に努めた。

17 学術研究倫理審査(新規)

(1) 学術研究についての倫理審査(新規)

人を対象とする医学・薬学系研究を倫理的及び科学的観点から、会員等より申請のあった学術研究について倫理審査を実施した。

(2) 研究倫理に関する研修会の開催(新規)

薬剤師を対象とした研究倫理に関する研修会を開催した。

講演 新潟県薬剤師会 学術倫理審査委員会の審査申請等について

講師 新潟県薬剤師会常務理事 五十嵐 央 氏

特別講演 薬剤師として知っておくべき研究倫理の基礎と実際

講師 新潟大学医歯学総合病院教授・薬剤部長 外山 聡 氏

(3) 研究倫理に関する研修会・講習会への参加(新規)

日薬が主催する研究倫理に関する全国会議に参加して情報収集を行った。

18 三師会等関係団体との連携

(1) 三師会との連携(継続)

- ① 新潟県における医療、保健、福祉の向上に寄与するため、新潟県三師会連絡協議会に参画して、三師会との連携を強化した。
- ② 新潟県三師会連絡協議会の事業・目的である県民の医療、保健、福祉に関する事項を達成するため、三師会による県民のための健康セミナー実行委員会へ参画し、三師会主催の一般県民向けの健康セミナーを開催した。
- ③ 三師会社会保険担当理事連絡協議会へ参加して、指導状況等について情報交換を行った。
- ④ 三師会・国保連合会・支払基金保険事務懇談会に出席した。

(2) 新潟県民医療推進協議会との連携(継続)

- ① 新潟県民の健康の増進と福祉の向上を図るため、新潟県における医療・介護・保健及び福祉行政の拡充強化をめざして、三師会等関係団体で構成する新潟県民医療推進協議会に参画して連携を強化した。
- ② 同協議会に設置されている在宅ケアにおける多職種協働推進委員会、大災害に対する多職種協働推進委員会及び健康寿命延伸にかかる多職種協働推進委員会等に参画して構成団体と連携を図った。
- ③ 健康寿命延伸にかかる多職種協働推進委員会へ参画するとともに、新潟県民医療推進協議会が主催する一般県民・多職種等を対象とした「健康寿命延伸フォーラム2018」へブース

出展した。

(3) 新潟県薬事団体連絡協議会との連携(継続)

- ① 構成団体相互協力のもとに、業界の発展、公衆衛生の向上及び県民の健康維持増進に寄与することを目的とする新潟県薬事団体連絡協議会に参画して連携を強化した。
- ② 新潟県薬事団体連絡協議会の事務局を担当して総会を開催し、薬と健康展等の事業の運営を担った。

(4) その他の関係団体との連携(継続)

- ① 公益財団法人新潟県健康づくり財団に参画した。
- ② 新潟県糖尿病対策推進会議に参画した。
- ③ 新潟県歯科保健協会に参画した。
- ④ 新潟県小児保健研究会に参画した。
- ⑤ 新潟母性衛生学会に参画した。
- ⑥ 新潟栄養・食生活学会に参画した。
- ⑦ NPO法人新潟難病支援ネットワークに参画した。
- ⑧ 新潟県学校保健研究大会に出席した。
- ⑨ 公益財団法人新潟県臓器移植推進団体に参画した。
- ⑩ 新潟県交通安全対策連絡協議会に参画した。
- ⑪ 新潟県介護支援専門員協会に参画した。
- ⑫ その他関係団体との連携を強化した。

19 北陸信越ブロック薬剤師会との連携

(1) 北陸信越ブロック連絡協議会との連携(継続)

北陸信越ブロック連絡協議会に出席して、北陸信越ブロックの各薬剤師会と連携を図り、情報交換に努めた。

(2) 日薬(北陸信越)ブロック会議への参加(継続)

日薬(北陸信越)ブロック会議に出席して、日薬及びブロック内の情報交換・意見交換を行った。

20 日本薬剤師学術大会への対応

(1) 日本薬剤師学術大会への参加(継続)

会員の資質向上に寄与するために、日本薬剤師学術大会に役員等を派遣し、参加した役員が会誌「ジャーニファ」等で報告した。

【 附 属 明 細 書 】

事業報告を補足する事項はありません。